

会より さくら だより

第20号 2008年10月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1
☎(03)5753-3900(代)・FAX(03)5753-3955
ホームページ: <http://www.sakurakai.jp/>

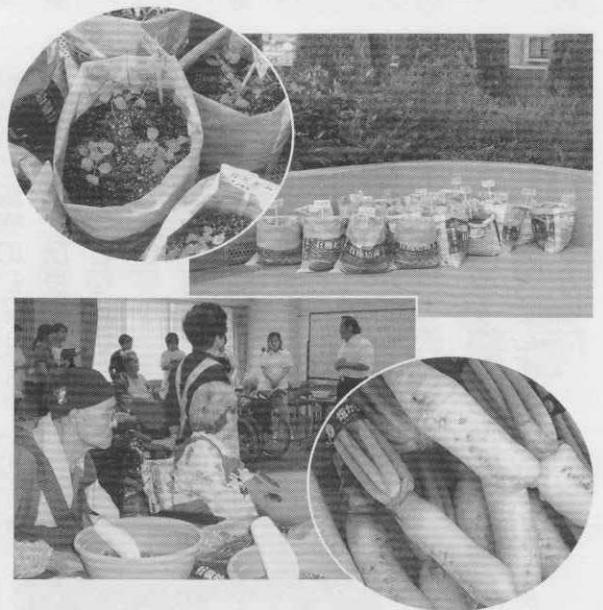
「しながわカブ」を植えました

9月13日の園芸療法活動で「しながわカブ」を植えました。ケアセンター南大井では月に一回園芸療法を行っております。この療法は園芸作業を通して、外の空気に触れ、季節や天候、植物の生命力を体で感じ、日常生活の実感を取り戻し、生活をより豊かにしていただく事を目的としております。また、ご利用者同士が知り合う場にもなります。今、地元の青果店の皆さんが中心となって、伝統のカブを復活させるため、普及活動を始めています。その一環としてこの度、種をプレゼントしていただき、植え方や育て方を教えるなど、一緒に活動に参加してくださいました。



江戸時代には、品川・大井のあたりは「カブ畑」がたくさんあったそうです。宿場町として栄えた品川は、食を支える農業や漁業が盛んでした。地元の名前がついた野菜には、「しながわ

カブ」の他に「大井にんじん」などがあります。



「しながわカブ」はダイコンのような細長い円筒形が特徴で、長さ20〜30cm、太さは4〜5cm。種まきから50〜60日ほどで収穫できます。少し甘みがあり、身は軟らかく漬物や味噌汁の具、煮物に適しているそうです。

11月の活動で収穫し、ご利用者に食べて頂く予定です。今回は、土が入っていたビニール袋を利用し、そのビニール袋を畑に見たて土を作り、種をまきました。みなさん真剣に作業に取り組み、収穫を楽しみにしていらっしゃいます。協力者の皆さん、ありがとうございました。

4階の庭園には小さな畑が並んでいます。当施設にいらした際には、ぜひ足を運んでご覧ください。

*さくら会のマーク

重なりあう花びらは、人と人が互いに尊重し、理解を深め合う利用者たちとさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

屋上庭園のメダカ池が

ビオトープに！

この8月屋上の洋風庭園にある池が、さくらハイツ入居者の有志の方により、ビオトープに生まれ変わりました。

ビオトープの池は、水草などの植物や石などを入れて自然に近い環境に近づけると、バクテリアなどによって、人間が手を加えなくてもメダカたちが暮らしやすいような良い環境を作ってくれるのです。すると数日でメダカ達が産卵し、今では稚魚が数匹三元気に泳ぎまわっています。より丈夫なメダカが育って、今後もご入居者を楽しませて頂けることと願っています。

9月4日には、メダカ池のメダカと前田理事長が自宅で飼育されているメダカ数匹の交換交流を行いました。より多くの皆様に庭園に遊びに来て、癒しのひと時を過ごしていただきたいと思っております。



ハイツ全体懇談会・懇親会

さくらハイツ南大井では、入居者の方により快適に生活していただくために2月に一度

代表者の方々との懇談会を開いています。これとは別に年2回、入居者全員の方々を対象にした『全体懇談会』があります。8月26日に上半期の会を開きました。

入居者の皆様からは、日々の生活の中で思う疑問・質問や、意見などを頂戴いたします。また、事務局側からは、「介護の安心基金」の收支報告や施設行事のご案内といったこともお話しさせていただきます。

また、全体懇談会の後には、入居者同士や、さくら会職員との交流の場として『懇親会』を行なっています。この懇親会も、今回で17回目を迎えました。

普段なかなかお目にかかれない入居者の皆さんが一同に会して、また、職員にとっても楽しみのひとつとなっています。

また今回は、職員によるリコーダー四重奏、施設長による手品、入居者・職員合同のウクレレの演奏、そして前田理事長からはバイオリン演奏と盛り沢山の披露されました。前田理事長の



バイオリン演奏のラストには、炭坑節の名演奏があり、ご入居者・職員も音色に合わせて踊ったり歌ったり、宴の最後を飾ることができました。

月見橋敬老会

月見橋恒例の敬老会は9月16日、17日、20日と三日にわたり行われました。

今年のお祝いの方は、
喜寿七十七歳が三名様
傘寿八十歳が二名様
米寿八十八歳が七名様
卒寿九十歳が二名様
白寿九十九歳が二名様
全員で十六名の方をお祝いしました。

敬老会は皆様のご紹介から始まり、所長の祝いの言葉、そしてお一人づつお話し頂き、他の利用者様がこの日の為に作成しました、押し花のお祝いカードを手に持ち笑顔一杯のみなさまでした。

後半は皆さんで歌を歌って、最後のお楽しみは「おやつバイキング」。ケーキやお饅頭、そしておせんべいと人気は手作りあんみつでした。



全員で楽しくお祝いをしました



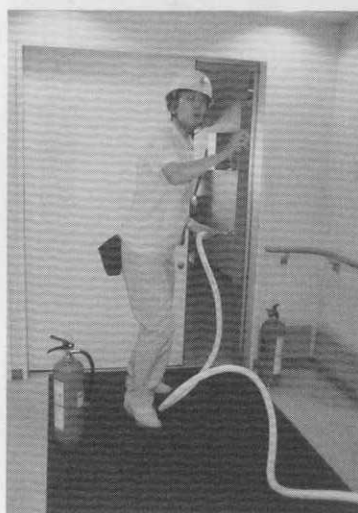
お祝いカード
裏にはお祝いの言葉があります

自衛消防隊出動！

ご入居者と ご利用者を守ります！



緊張の一瞬



日々の訓練が大切



左から参加者の服部と鳥井本隊員と澤井隊長

7月4日大井消防署主催の自衛消防発表会の、二号消火栓の部にさくら会も参加いたしました。全員が初参加の緊張感が漂う中での発表となりました。消防署のご指導を頂き、全員一所懸命に消火活動を行い普段の訓練の成果を発揮した結果、優良賞を頂きました。

さくら会では毎月防災訓練を行っています。年に何回かの訓練では、発表会で使用する二号消火栓を使って行なっています。訓練で何より大切なのは、ご利用者の安全の確保です。そのためには、普段からの火災予防はもとより、万が一災害が発生した場合の対応について日頃より検討し、それを訓練に活かし、どのような事態にも対応できるようにしなければなりません。さくら会では、今後も様々なケースを想定した訓練を積み重ねていきます。

大井第一地区 認知症 サポーター養成事業開始!!

皆様は、日々の生活の中で認知症を持つ方との関わりで、戸惑ったことはありませんか？

認知症とはどんな症状であるのか、なぜ理解できない行動をとるのかを理解すれば、日々の関わりの気付きとなり、生活が変わるのではないのでしょうか。

認知症についての基本的な知識を身につけ、地域で暮らす認知症の方や家族の生活を見守り、ほんの少しのお手伝いが出来る方、それが「認知症サポーター」です。

品川区では、平成18年度より認知症サポーター養成に取り組んでいます。本年度は、大井第一地域をモデル地域として、民生委員さんを中心に認知症についての勉強会を行うなど、「認知症サポーター養成事業」を行います。

講演会、グループワーク、施設見学ありと盛りだくさんの内容を準備中です。それ以外にも在宅介護支援センターから皆様のところへ出ていくきますので、興味のある方はぜひご参加ください。



●●●意見箱から●●●

今回はケアセンター南大井のご利用者の方から、大変貴重なご意見をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

ご意見「歯磨きについてのお願いです。歯ブラシとコップを入れるケースを、歯磨き前と磨いた後入れるケースを分けて磨いてない人が判るので磨き忘れがないと思います。」

回答「当施設では、歯磨き（口腔衛生）について、美味しく食事を召し上がっていただく事や、肺炎などの病気予防のために重要なことと認識しております。ご指摘のとおり、ケアセンター南大井の2階と3階では、歯ブラシやコップの置き場所や管理方法に違いがありますので、いただいたご意見を基に介助が必要な方の対応については必要な介助をきちんと行うよう努めてまいります。貴重なご意見ありがとうございます。」



11月の介護者教室

「もっと知りたい認知症介護」

—— わかりやすいQ&A ——

日時…平成20年11月15日

午後2時より

場所…さくら会南大井

研修室

介護者教室報告（7月12日）

「夏の食べやすい食事」

夏を迎え、蒸し暑い日々が続く、高齢者の方たちにとっても食欲がなくなる時期となった7月12日（土）に、南大井通所部では、介護者を支援する為の教室を開きました。「夏の食べやすい食事」をテーマに、のど越しがよく栄養価の高い食事を実際に作ってみました。

当日は16名参加され、グループごとに分かれてから、うなぎ混ぜごはんと豆乳プリンを作りました。

昔とった杵柄といましようか、皆さん手際よく作られ、ご家庭の味がよくでた力作料理ができました。

皆さん、おいしそうにできあがった料理に舌鼓をうちながら「うちでも作ってみようかしら」と好評のうちに終了しました。

さくら会まじりのご案内

日時…平成20年11月2日（日）

午前10時より午後3時まで

場所…さくら会南大井事業部

品川区南大井5-19-1

皆さんのお越しをお待ちしています。

主な催し

- ・ 作品展および販売
- ・ 模擬店
- ・ 縁日コーナー
- ・ 福祉機器展示
- ・ ミニバザー
- ・ スタンプラリー
- ・ ペーパークラフト体験
- ・ 園芸寄せ植え体験
- ・ ステージ

※内容は変更になる場合がございます。

協力

- 大井第一町会連合会
- 大井第一地域センター
- 社会福祉法人 品川区社会福祉協議会
- 社会福祉法人 品川総合福祉センター
- 社会福祉法人 福栄会

※ 駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。

〒140-0013 品川区南大井5-19-1

社会福祉法人さくら会 編集委員会 宛

次号のさくら会だよりは平成21年1月発行予定です。